

<事業名> 郷土研究2018

団体名	和田山高等学校 地域活性化実行委員会
所在地	兵庫県朝来市和田山町
代表者名	実行委員長 森垣 泰宏

事業内容	<p>①高校生が地域の現状を知り、自分たちにできることを調べる調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ものづくり研究班による、地元で起業された方へのヒアリング調査および指導</li> <li>・まちづくり研究班による「まちづくりオリジナルマップ」の作成</li> <li>・ろじかる・コミュニケーション班による「地元小学校との交流」を実施</li> <li>・サバイバル・マネジメント班による「防災マップ」の研究および消防団の結成</li> <li>・生活文化班による特産品「岩津ねぎ」の商品開発および市場調査を実施</li> </ul> <p>②11月24日「第2回わだやマーケット」時に成果発表および講演会を実施</p> <p>地域等のことについて、調査・研究したことをプレゼンし、広く多くの地域住民に周知</p> <p>マイスター工房八千代 藤原たか子氏の講演会を開催</p> <p>地域特産品等を活用した商品開発のきっかけ等を講演していただいた</p>	
地域	朝来市	
事業の効果	<p>①団体（組織）内の効果</p> <p>高校生自らが地元のことをより深く学び、研究することで郷土愛を深めることができた。また、多くの地域住民の方の協力を得て、地域間交流を実施することができた。さらに地域住民の方々に特別講師として授業に参加していただくことで、実社会をより身近に感じながら学ぶこともできた。これは、高校生自らが地域の課題を発見し、よりよい地域社会を実現しようとする態度を育成することができた。</p> <p>②地域への効果</p> <p>将来の担い手となる高校生が、地域に対する想いを抱きながら真剣に取り組んでいる姿を広く多くの方に知っていただくことができた。また、藤原たか子氏の講演会を実施することで、地域活性化への取組のヒントなどを高校生と共有することができ、地域課題を考える場を設けることができた。</p>	
事業経過	30年8月3日	第1回実行委員会
	30年9月13日	郷土研究2018（サバイバル・マネジメント他） 外部講師による講習
	30年9月20日	郷土研究2018（ろじかる・コミュニケーション） 外部講師による講習
	30年9月27日	郷土研究2018（ろじかる・コミュニケーション） 外部講師による講習
	30年9月28日	第2回実行委員会
	30年10月4日	郷土研究2018（ろじかる・コミュニケーション） 外部講師による講習
	30年10月18日	郷土研究2018（ろじかる・コミュニケーション） 外部講師による講習
	30年10月23日	郷土研究2018（まちづくり研究） 外部講師による講習
	30年10月24日	郷土研究2018（まちづくり研究） 外部講師による講習
	30年11月8日	郷土研究2018（まちづくり研究） 外部講師による講習
	30年11月24日	第2回わだやマーケット時、研究成果発表及び外部講師による講演会
	31年1月7日	第3回実行委員会
	31年1月31日	第4回実行委員会
	31年2月28日	第5回実行委員会

協働の相手方	朝来市・朝来市教育委員会・朝来市商工会（後援） 朝来市内事業者 等
今後の課題等	<p>〈事業を実施する上での課題〉</p> <p>①団体（組織）の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査、研究内容をより深い研究等に進めていくこと</li> <li>・研究成果を発表する場を増やしていくこと</li> </ul> <p>②地域の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生からの目線で発見した課題等について、その成果をより地域に反映すること</li> <li>・共通理解を図る交流の場を設けること</li> </ul> <p>〈31年度以降の事業計画〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・模擬会社の設立</li> <li>・地元企業との商品開発等</li> <li>・高校生による魅力発信事業</li> </ul>



30年5月10日 ものづくり研究班



30年11月24日 研究内容揭示



30年11月24日 講演会



30年11月24日 発表